

資料 EX-F (CVT) 改造時注意点

Rev. 2011/03/23

1. EX-F キットや CVT キットを取り付ける際の注意点

1-1. 取付け前に対象とするダーツマシンの状況を把握する。

1-1-1. 対象とするダーツマシンに対応した改造キットであることを確認する。

1-1-2. **筐体の安定度・強度に問題がないか**を確認する。

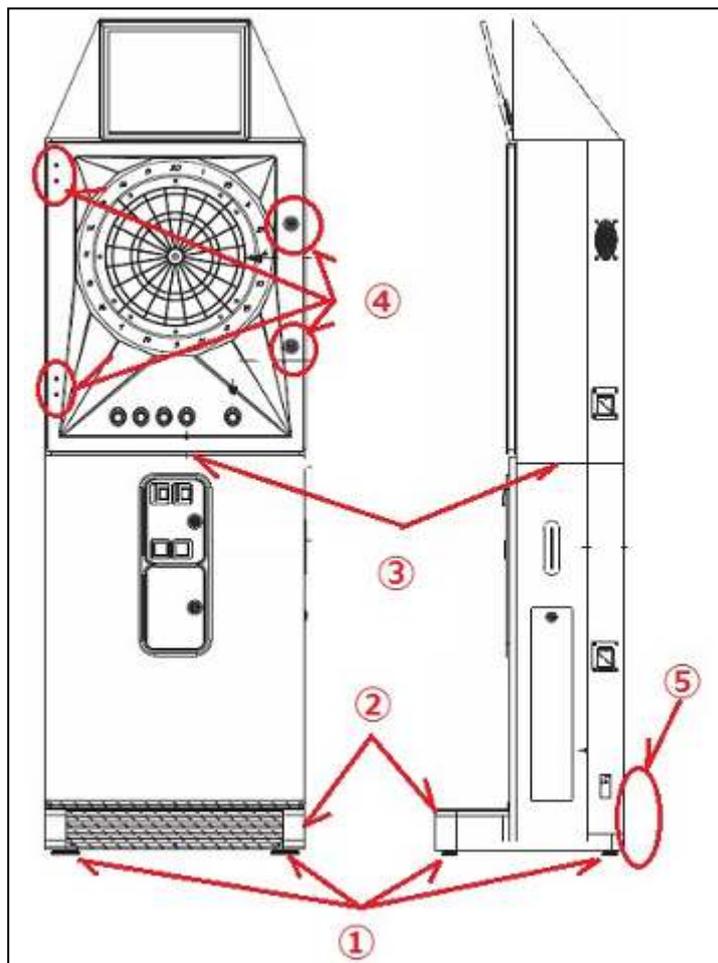
EX-F の場合、重心位置が上がる人が多いので、

対象となる筐体は、特に丈夫で安定した状態を維持している物であること。

以下の点は重要。

- ①底面アジャスター調整による水平安定度の確保
- ②ステップ固定による前側への転倒防止
- ③上下キャビネットの接続状態・強度
- ④ターゲットドアの取付け状態(ヒンジ・カギ等)
- ⑤背面下側の転倒防止金具(背面が壁でない場合)

図; e-TEC 例



1-1-3. 完動品か？

故障部位がある際は、改造後には使用しない部分であって、動作や安全性に影響しないと判断出来なければ、取付け作業はお勧め出来ません。
改造後にも使用する部分であれば、先に修理して動作・安全を確かめてから取付け作業に進むべきです。

例；電源が入らない。ターゲット横の蛍光灯が点灯しない。

→ AC(交流)100V 系の故障は危険です。

殆どは取付けが終了しても症状が好転しません。

⇒ EX-F キットや CVT キットが壊れます。

最悪の場合、感電や火災に繋がるので最も注意を要する。

1-1-4. 電気的な改造の有無を確認する。

改造されたり、きちんと修理されていないダーツマシンが多く存在します。

電源関係が改造されていたり、電線の色を考慮せずに修理したり、修理できていない等の機械を扱うことは危険です。

EX-F タイプ改造説明書では、改造されていない機器を対象にしているので、このような機器への取り付けは電気の知識・経験のある方(配線図を理解し、改造状況を把握して確実な作業が出来る方)以外は避けるべきです。

1-2. 取付け準備

メーカー・機種によって、同じ名称の機械でも、バックドアやサイドドアの寸法、モニター取付け穴の数・位置・径、電気配線・電気部材が異なります。

これらを改造前に確認し、準備することで、故障・事故の防止に役立ててください。



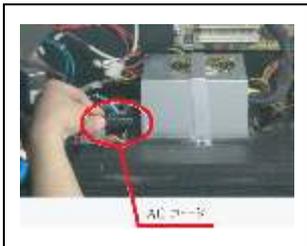
1-2-1. 電気部材と配線の確認(作業は電気の知識・経験のある方が対象です)

対象とするダーツマシンは、**使用している部材によって、電圧・配線の色が異なります。**
事前に、使用する部材の電源線を辿り、テスター等で使用している電圧を確認して
マーキングしておく等で、故障・事故を防止して下さい。



要注意項目;

- ① **AC(交流)100V 系**で、ターミナル部や端子台部の**配線及びネジ締め状態**がしっかりしていないと、漏電・感電・火災等の事故に繋がります。
- ② 対象機械の電源装置から AC100V 入力を取り外さなかった場合、その電源装置の出力線がショート(短絡)し、過熱・火花や煙が発生し火災等の事故に繋がります。
- ③ キットのターミナル(ML15-3P)部や電源装置の端子台部を利用した配線及びネジ締め状態。
間違えると、②と同様で、I/O ボードや電源装置の破壊・故障や事故に繋がります。
- ④ 不要なネジ・板金等を固定しない状態で筐体内のターミナルや端子台の傍に残しておかないこと。(ショート(短絡)・漏電の原因になる)



以上